

第 251 回生存圏シンポジウム 平成 24 年度 RISH 電波科学計算機実験 (KDK) シンポジウム -プログラム (2014 年 3 月 5 日版)-

日時： 平成 25 年 3 月 12 日 (水), 13 日 (木)

場所： 京都大学 宇治キャンパス 木質ホール 3 階

(口頭発表・ポスター発表とも同じ会場です)

宇治キャンパスマップ【木質ホールは紫色の⑤番の建物】

<http://www.uji.kyoto-u.ac.jp/campus/map.pdf>

主催： 京都大学 生存圏研究所

電波科学計算機実験専門委員会

3 月 12 日水曜日 (口頭発表・ポスター発表)

- 15:00 – 15:05 開会の辞
- 15:05 – 15:25 田中高史 サブストームプラズマシート変動と電離圏への投影
- 15:25 – 15:45 小路真史 Spectrum characteristics of electromagnetic ion cyclotron triggered emissions and associated energetic proton dynamics
- 15:45 – 16:05 清水 徹 高速磁気再結合過程の三次元性と磁気圏尾部観測に関する検討
- 16:05 – 16:25 中村雅夫 イオンスケール磁気圏と太陽風の相互作用
- 16:25 – 16:45 田所裕康 Enceladus 衛星周辺における水分子との弾性衝突による電子ピッチ角散乱効果に関して
- 16:45 – 17:05 鳥井博行 三次元高速磁気再結合過程における流入領域の特徴

3 月 13 日木曜日 (口頭発表・ポスター発表)

- 09:00 – 09:20 藤田茂 Energy conversion process in the dayside magnetosheath-magnetopause region
- 09:20 – 09:40 加藤雄人 動的負荷分散技法 OhHelp を適用した電子ハイブリッドコードの性能評価
- 09:40 – 10:00 川口伸一郎 大気吸入型イオンエンジン内のプラズマ生成に関する粒子シミュレーション
- 10:00 – 10:20 蔡 東生 TBD
- 10:20 – 12:00 ポスターセッション

(3 月 12 日 13 時よりポスターを貼ることができます。)

ポスター発表

1. 疋島 充 WPIA における波形処理およびシミュレーションによる擬似計測
2. 長崎 陽 磁気セイル搭載に向けた高温超伝導コイル内遮蔽電流および交流損失解析
3. 梶村好宏 磁気ノズル併用型磁気プラズマセイルの推力評価
4. 木倉佳祐 太陽探査衛星とプラズマの電磁相互作用に関する粒子シミュレーション
5. 鷹尾 祥典 超小型宇宙推進機用イオン源の粒子計算
6. 星 賢人 帯電衛星を用いたプロペラントレスな軌道制御を実現するための衛星帯電性能の解析
7. 三宅壮聡 複数電波伝搬特性解析による電離圏下部領域電子密度推定の自動化
8. 西 憲敬 雲頂高度データベース CTOP version2 の作製
9. 海老原祐輔 サブストーム時における内部磁気圏変動